

(公財)神戸大学六甲台後援会だより (27)

母校の発展を祈念される凌霜会員の皆さんに応えるための工夫

先日もある凌霜会員から母校の社会的評価について残念でならないというお電話をいただきました。そう言えば、「週刊ダイヤモンド」誌(2011年12月10日特大号)でも「就職に強い大学ランキング」が特集されていました。如水会と連携した「橋大がトップで、2位が京都市大、秋田に比較的最近開学された国際教養大が3位、わが神戸大は近畿地区では大阪市大(12位)、関西学院大(13位)、大阪府立大(25位)、同志社大(32位)などに次いで36位となっております。こういう順位の基準は、正味の就職率、その対前年度の増加率、公務員就職率、国家公務員就職率、民間企業人気百社就職率、学生百人当たりの専任教員数、大学の教育、就職支援等々に一定のウエイトをかけて総合評価されており、大学の学術研究レベルとか教育内容とかに関連しての評価ではありません。それでも就職に強いか弱いかは、学生自身はもちろんご家族にとっても大変重要な評価ポイントです。実際この特集では、全国の国公私立518大学を評価対象としていて、「後悔しない大学選びのための全情報」と題して先ほどの順位を定めています。わが凌霜会では、この「凌霜」誌391号でも紹介された「六甲台就職情報センター」を設けて、

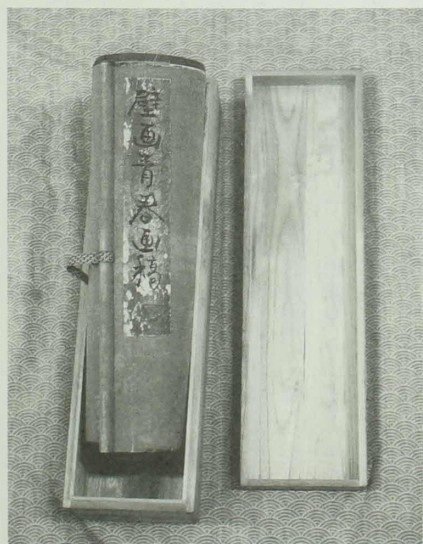
神戸大学全体の就職相談に加えて、経験豊富な卒業生のボランティア的協力を得た指導を行っています。それでもこのような評価に止まっています。大学全体でも各学部同窓会の協力を得て一層工夫して頂かねばなりません。

そう言えば、「凌霜」誌第388号で私たちは、日本経済新聞のBPコンサルティングが実施した大学ブランド・ランキングについても紹介し、本学が決して満足できる順位に入れていないこともふれておきました。同じような残念なことは、つい最近も、文科省が発表したリダー養成大学院構想でも見られました。すなわち、文科省は11月29日、5年一貫で先進的教育を行う「博士課程教育リディングプログラム」を発表しました。それは産官学で国際的活躍をする拠点校をつくるために設けられたもので、その中には京都大、大阪大、慶応大の3校が選ばれ、更に世界的に活躍するリダー養成の拠点には、東工大、名古屋大、東京大、山梨大、広島大など13大学が選ばれましたが、残念ながら本学は選ばれませんでした。こういう状況を抜け出し、福田学長の言われる国際的に卓越した大学になるためには、特別な政策的配慮をして頂かなければなりません。わが六甲台後援会でも従来からの法・経済・経営3学部と大学院研究科に、国際協力研究科と経済経営研究所の研究と教育の振興を図るために格別の支援をしていく相談もしています。そのためには、わが六甲台後援会は、皆さんの心のこもったご寄付を積み上げて、まず、凌霜関連部局の飛躍的發展を図らねばなりません。そうでな

いと、最初にふれましたような凌霄会員の願望に応えることはできないからです。私たち六甲台後援会も、これから一層力を入れて関係学部の先生方との十分な連絡をとり、研究・教育の両面に亘る支援を強くしていきたいと思っておりますので、皆さんどうかよろしくご協力ください。

中山正實画伯の図書館壁画「青春」の画稿について

国立大学の講堂にこれだけ美しい立派な壁画のあるところは、寡聞にして東京大学の安田講堂以外には知りません。まして、大学の図書館にこれだけ夢をかけた見事な壁画のあるところはありません。殊に、大学図書館というのは、世界のどの大学でも、講堂以上に大切にされているところで、米国などでは特にそうです。知識と知恵の殿堂で、生きている先生方以外の全世界の碩学と著書・論文などを通じて対話ができ、自分を成長させることができる場所だからです。その真正面のわが六甲台図書館には皆さんなじんでこられたように中山正實画伯の壁画が描かれています。その壁画「青春」の画稿（写真）がこの度、第6回神戸大学ホームカミングデーにおいて特別展として開催された「中山正實展」の鑑賞に来られた井川美枝子さんから、私たち六甲台後援会の方へ届けられました。井川さんは、中山画伯のご夫人（時子さん）の奈良でのご葬儀にもご臨席頂いた方で、文字通り時子さんとは親しくしてこられた方です。井



川さんからのお話によりますと、この画稿は、中山画伯の東京のアトリエのご近所に住んでおられた三浦博さんご夫妻が、中山画伯から寄贈を受けお蔵されていたものとのことですが、三浦さんも平成23年74歳になられ、折角の貴重なものですから皆さんに見て頂きたいということで、井川さんに託されたとのことです。本当にありがたいことです。画稿は巻物になっていて全長15・3メートルもあり、残念ながらここにそのまま紹介することはできません。

この画稿の最初には、修禅球学納と署名し、達筆で書かれた「練想永輝」（写真）という題字のあと、中山画伯自身が、「昭和八年於東京、三十五歳春」と書かれた字を巻頭に記し、壁画「青春」のいろいろ場面が描かれています。またそれに関連して、個々の青年像



画「青春」に対する画伯の想いが述べられ、次いで「地上の学問にとらはれず 天上の真理を忘れず」と呼びかけておられます。更に、「技法は腕に経験させよう 技は一觸の浮薄も許さず」と、この壁画に立ち向かわれるご自身の所存を述べられるだけでなく、この気持ちの大切さを皆に呼びかけておられます。その他、「心に平静を失はず最善を尽くし得る仕事に打込め」とか、「仕事の中にも静かな思索の時間を加へやう」あるいは「樹肌の凹凸の作る小さな陰影にとらはれると大樹の表現が出来なくなる」（以上仮名使いはすべて原文のまま）など、画伯のお言葉は、絵を描く人だけでなく、私たち

などに、画伯の想い
というか、願いが書き
込まれています。
その幾つかをご紹介
しましょう。まず、

最初には「ひとりの
人間の力ははかない
ものだからし積み上
げられてゆく一人の
力は洞門を築く 永
遠に残すべき記念碑
の一つづつの石をつ
み上げよう」と、壁

のように他の仕事をしている者にも鋭く響く言葉になっています。
この画稿はそのうち、皆さんにもご覧頂けるようにしたいと思います
ますが、取り急ぎ三浦さん、井川さんのご厚意に感謝しつつご報告
させていただきます。

今回のご寄付のご報告とお願い

毎号ご報告させて頂いていますように、今回も以下の方々から貴重なご寄付を頂きました。すなわち、田中和雄様（昭29・経済Ⅱ）、高崎正弘様（昭34・経営）、及び木村正則様（昭50・経済）各10万円、横山泰起様（昭35・経営）20万円の方々です。本当にありがとうございます。これで本年度になってからで小計631万円を頂くことになり、こういう形で寄付を特に強く要望させて頂くようになりました平成16年度からのご寄付合計は、2億1,355万円余になりました。冒頭に申し上げましたように、多くの課題を抱えた神戸大学の社会科学部門が日本と世界の経済活動に貢献できる研究・教育機関になるためには、私たちのより大きな支援活動が不可欠です。今後とも、より強いご支援をお願いいたします。

なお、毎回書かせて頂いていますが、六甲台後援会へのご寄付につきましても、税法上の特別措置のある証明書付きの領収書を送りしております。これは、以前にも申しましたように当財団が公益財団法人になった現在も変わりませんので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。なお、当財団へのご寄付の手続きは以下の通りです

ので、ご存知おきください。

◎銀行送金の場合（銀行からの連絡に時間がかかり、領収書送付が遅れないようにするため、お葉書でも電話・FAXでも結構です）から、ご送金について事務局までご一報ください

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人 神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください）

口座番号 0098019116772

口座名義 公益財団法人 神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人 神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013



国民経済雑誌 第204巻 第4号 (10月刊)

論 文

不平等回避選好と囚人のジレンマにおける 内生的リーダーシップ：1つの例	安部浩次 小林英生 末廣幸治
ガーナにおける貧困削減と非農業雇用の役割	山崎聡子 入谷
オペレーション戦略における競争能力としての 持続可能性：理論的研究	島田智明 川栄一
じゃんけん癖のゲーム理論	宮川栄一
教育の社会的収益率について	佐野晋平